

飯山市地域公共交通会議 顛末

令和3年3月29日（月）13時30分
飯山市役所 4階 第2～4委員会室

1 開会（進行：木村企画財政課長）

2 会長あいさつ（中原会長）

1月の区長会協議会の役員が改選となり、新しく会長を仰せつかった。
公共交通を担う運行事業者の皆様におかれましては、運賃収入の減少など厳しい状況の中、感染対策を行いながら、市民の日常的な移動手段として日々運行をしていただいていることに対して、御礼を申し上げます。

3 報告事項

- (1) 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について 資料1
別紙、資料1を事務局が説明。

質疑応答 特になし

- (2) 菜の花バス市街地循環線の冬期間における休日の
一部試験運行の結果について 資料2
別紙、資料2を事務局が説明

質疑応答
特になし

4 協議事項

- (1) 飯山市地域公共交通会議規約の一部改正について 資料3
別紙、資料3を事務局が説明

質疑応答
特になし

(会長)
承認ということでよろしいか。
《承認》

※名簿に記載された名前の誤りについて意見があり、後で修正とする。

※現状について意見報告

(委員)

去年からコロナにより貸切バス・高速バスのお客様がおらず、観光(分野)が動いていない状況であるが、この地域を支える路線バスについては少しずつ客足が戻ってきており、だいたい8割程度まで戻ってきている。ただ、利用者は減少傾向にあることから、これから策定する計画にもとづいて、ニーズにあった路線バス・デマンドバスにしていくべきだと思っている。

(委員)

JRは1月くらいからスキーヤーが戻ってきており、8時台・9時台には合計で200名弱が下りる。20代の日本人の男女と日本に住む外国人のファミリー層が多い。今月の下旬になっても8時台・9時台の利用状況は変わらないが、観光(分野)では客がまだ戻ってきていない。

(委員)

県のタクシーの状況としては、昨年の4月から今年2月までの輸送実績で、その前の年に1,172億円あったが640億(54.8%)にまで減少した。イベントや冠婚葬祭等の減収が大きい。飯山市(の輸送実績)は、同期間比で約57%という状況。新幹線開業後は改善していたが、コロナで悪化している。

5 その他

地域公共交通計画の策定について
別紙、資料4を事務局が説明

・・・・・・資料4

質疑応答

特になし

(事務局)

来年度については市長を会長とした新しい体制の中で、また計画の策定と公共交通の見直しに向けて取り組んでまいりたいと考えているので、皆様のご協力をお願いしたい。

6 閉会